

兵庫 県
保険医協会

西宮屋 西芦 支部ニュース

No. 337

2017・3・25

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部
西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内
連絡先 兵庫県保険医協会
電話〇七八(三九三) 一八〇三

近年開業医交流会・支部新年会 感想文

普段からの丁寧な説明が大切

西宮・芦屋支部は1月21日に西宮市民会館で近年開業医交流会・支部新年会を開催し、14人が参加した。交流会では白水法律事務所の鵜飼万貴子弁護士が「開業医が知っておきたいリスクマネジメント」のテーマで講演し、西宮市・半田医院の半田伸夫先生が司会を務めた。終了後に開催した支部新年会には10人が参加。交流会を受けて日常診療の中での疑問などを交流し、大いに親睦を深めた。交流会に参加した芦屋市・有田クリニックの有田幸生先生の感想文を紹介する。

を言っている患者様を前にして、その場をおさめるためのメイデーシヨンの方法などもご教示頂けるとありがたいです。ありがとうございます。

【芦屋市・有田クリニック 有田幸生】



14人が参加し熱心に学習・交流した(上)
新年会で大いに親睦を深めた(下)

世話人会だより

西宮・芦屋支部は2月24日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。6人が参加した。

【報告】

①健康と医療について語り合う会(2・17)・36人

【予定・企画】

- ①医師・歯科医師・メイカルスタッフのための英語で診療Medical English #49(3・17)
- ②被災地物産展(4・1)
- ③支部お花見会(4・8)

*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についての「意見や企画案などをお寄せください。」

健康と医療について語り合う会

聴覚障害の方々への情報保障続けていきたい

2月17日に西宮市立福祉会館で、西宮手話友の会昼の部主催の健康と医療について語り合う会が行われた。西宮・芦屋支部は講師派遣に協力し、西宮市・吉岡整形外科クリニックの吉岡裕樹先生が「肩こりや五十肩の治し方と予防法について」をテーマに講演。36人が参加した。また、西宮市・大森内科医院の大森公一先生が開会のあいさつを行った。参加者の感想文を紹介する。



鵜飼万貴子弁護士がリスクマネジメントのポイントを解説(左)
半田伸夫先生が司会を務めた(右)



大森公一先生が開会あいさつ(左)
吉岡裕樹先生が肩こりについてわかりやすく講演した(右)

私達手話友の会

話友の会 昼の部は、手話を学び聴覚障害者と交流しながら様々な活動をしているサークルです。会員も高齢化してきており、健康への

関心が高まってきています。また、聴覚に障害ある方々は(健)聴者に比べ情報量が不十分な面もあるため一緒に学習できればと、一年に一回医療講座を企画しています。今回は、平成28年度の医療講座として2月17日に吉岡整形外科クリニックの吉岡先生をお招きし、「肩こりや五十肩の治し方と予防法について」のテーマでお話いただきました。最初に先生から手話で「こんにちは」とご挨拶いただき、さらには、ヘビやニワトリに肩こりがあるのか?という興味深い内容で、すぐに引き込まれていきました。また、パワーポイントを使いながら実際のリハビリ方法を見せて頂いたり、予防のための運動の仕方を教わったりと、とてもわかりやすくご説明いただきました。最後の質疑応答では途切れることなく質問が出て、あつと言う間に時間が過ぎてしまいました。

参加者は、ろう者15人を含む36人、と普段の例会と比べても、ろう者の参加が多く関心の高さが伺えました。ろう者の前での講演経験はないと仰っていた吉岡先生からも後日「大変勉強になりました。また呼んでください」という嬉しいお言葉をいただきました。

今後も聴覚障害の方々への情報保障を考えながら、このような学習会を幅広く続けていきたいと考えています。

最後になりましたが、保険医協会様には毎年本当にお世話になっております。今後とも引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

【西宮手話友の会昼の部 木全智子】

介護保険を良くする西宮の会 市民公開講演会

生活援助は生命活動の基礎、 介護保険はずしは認めない

西宮・芦屋支部も加入する介護保険を良くする西宮市民の会は、1月23日に西宮市立勤労会館で市民公開講演会を開催。「介護保険の動向と生活援助はずし」生活援助を通し、住みなれた自宅で、その人らしい生活を取りもどす！」と題して、立命館大学産業社会学部現代社会学科教授の小川栄二先生が講師を務め、介護関係者や市民ら81人が参加。西宮市・大森内科医院の大森公一先生が開会あいさつを行った。

や経済財政諮問会議での議論などを紹介しながら詳しく解説。要介護1・2の利用者に対する掃除・洗濯などの「生活援助サービス」を介護保険から外し、宅配や掃除業者などの民間サービスに置き換える方向性については、「次回改定での導入は見送られたものの、財務省などはまだ諦めていない」と指摘した。また、小川先生は京都のヘルパー連絡会などと協力し、利用者の自宅を実際に訪問した複数の事例について解説。強い尿臭、ネズミの糞などが散乱する荒れ放題の室内で生活していた高齢者について、最初はヘルパーの介

入すら拒否していたが、冷たい土間で寝起きしているところを見つけ、「ベッドだけでも入れてみませんか」と提案。ベッド導入で生活が快適になったことから拒否感が減り、次第に自ら掃除、買い物や料理までするようになった事例など、ヘルパーが生活援助に関わることで生活の質を一変させた経験を紹介。「生活援助には利用者が受け入れやすい働きかけ方」対人サービスの技能や素質が必要。「生活援助は生活全体を支える生命活動の基礎となるもので、生活全体を理解することが必要。宅配や掃除サービスなどに細分化するべきものではない」と締めくくった。

参加者からは「生活援助が介護保険から外されれば生活の質が下がり、要介護度がますます上がることになるのではないか」「生活援助外しの背景には介護サービスを民間ビジネスに委ねようとする意図があることが分かった」などの感想が寄せられた。



開会のあいさつを行う大森公一先生(左) 小川栄二先生が介護保険法改定の動向と問題点を解説した(右)



81人が参加し、生活援助の介護保険はずしの問題学習した

兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部 春の交流企画 支部お花見会

ぜひご家族・スタッフの皆様もそろってご参加ください。

西宮・芦屋支部では、日頃は何かとお忙しい先生方に春のひととき、美しい桜をお楽しみいただく春の交流企画としてお花見会を企画いたしました。ご家族・スタッフの方もそろってぜひご参加ください。

日時: 4月8日(土) 午後5時~

会場: 阪急苦楽園口駅北側

※阪急苦楽園口駅より北へ徒歩約1分。

※右図の「会場」場所にお集まりください。協会の青い旗が目印です。

※雨天、荒天の場合は中止いたします。

会費: 1,500円

※お飲み物・おつまみ等をご用意しております。

※お持ち込み・差し入れ大歓迎です!

当日連絡先:

090-9258-2002(協会携帯)

◆当日までのお問い合わせは、協会事務局

山田・納富・岡林 (TEL)078-393-1809 まで



東日本大震災被災地支援・地域交流

第6回被災地物産展

東日本大震災被災地への支援と地域交流のため、岩手県宮古市の「復興プロジェクト かけあしの会」の物産品販売・展示会を開催いたします。ご家族、スタッフ、患者さんやお知り合いなど、みなさまお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください!

お問い合わせは協会事務局(TEL 078-393-1809)

山田・岡林・納富まで

4月1日(土) 午前9時~午後3時

会場: 広川内科クリニック

駐車場・待合室

〒662-0845 西宮市神明町4-26

☎ 0798-64-2707

・JR西宮駅より北へ徒歩約7分

・阪急西宮北口駅より南西へ徒歩約12分

【物産品取扱例】岩手県田老町漁協わかめ、磯とろろ、塩蔵わかめ、おつまみ板昆布、塩麹クッキー、岩手県産産すき昆布、桑茶、いかしたのし兵衛、岩手三陸産カットわかめ、みそパン、ふのり、ひじき、松藻、いさだ、あわびの貝細工(ネックレス・イヤリング等)、カリニコにぼちゃん、津波CD、浮き玉、絵本、前掛け、ポーチ、絆せんべいなど!! ホタテ焼き、ホタテフランク、蒸し牡蠣などの実演販売や宮古の塩サイダーなどのお飲み物も販売しております!

スタッフ・患者さんにも
ご案内ください!

